



あきびんの口から息をふきかけると、ポーっと音がするのはなぜ

物がふるえているとき音は出ている

たいこをたたくと音が出ます。このとき、たいこの皮にふれてみると、皮がふるえていることがわかります。また、ギター-のげんをはじいてみます。音が出ているときには、げんがふるえているのがわかります。

紙やストローで、紙笛やストロー笛を作ってみます。笛をふいて音が出ているときは、笛の弁がふるえています。

このように、音が出ているときは、物がふるえています。

びんの中の空気のふるえが、びんをふるわせる

びんの口から、びんの中に息をふきこむと、息の流れでびんの中の空気はふるえます。すると、空気のふるえが、びんに伝わり、びんがふるえて音が出ます。

びんをふくときに、一気に強くふくと、びんの中の空気をかき混ぜすぎて、かえって音は出ません。静かにゆっくりふくと、ポーっという音が出ます。

また、びんの中に水を入れると、水の量が多くなるにつれて、だんだん高い音が出るようになります。(監修・青木 国夫)

静かにゆっくりふく

